

環 境 報 告 書

2023年度

活動期間

【2023年4月1日 ～ 2024年3月31日】



発行日

2024年 8月 1日



株式会社 司

1. 組織 の概要

- (1) 事業所名 : 株式会社 司
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 松村垂矢子
- (3) 所在地 : 本社・事務所 三重県松阪市五主町1313番地
中間処理施設 三重県津市一志町其倉170番地1
積替え保管施設 三重県津市一志町其倉170番地1
- (4) 事業内容 : 解体工事業
産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物処分（中間処理）
一般廃棄物収集運搬
- (5) 資本金 : 10,000千円
- (6) 沿革
- | | |
|----------|---|
| 1990年2月 | 事業発展により個人組織より有限会社司清掃社法人化 |
| 1990年9月 | 三重県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 1992年2月 | 三重県一志郡三雲町五主町1313にて事業所所在地に本社移転 |
| 1996年5月 | 三重県度会郡玉城町に伊勢営業所設立 |
| 1999年5月 | 三重県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 1999年7月 | 愛知県産業廃棄物収集運搬業許認可
愛知県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2000年8月 | 三重県産業廃棄物処分業許認可
三重県解体事業登録 |
| 2001年2月 | 有限会社司清掃社から株式会社司へ組織変更 |
| 2001年7月 | 岐阜県産業廃棄物収集運搬業許認可
岐阜県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2003年6月 | 専務取締役松村垂矢子が退任し、代表取締役に就任 |
| 2004年4月 | 三重県再生施設認定 |
| 2005年8月 | 肥料登録（発酵肥料つかさ） |
| 2008年4月 | 事業拡大に伴い津市一志町に津リサイクル工場完成 |
| 2008年5月 | 奈良県産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2008年6月 | 再生利用業個別指定許認可 |
| 2009年7月 | 滋賀県産業廃棄物収集運搬業許認可
滋賀県特別産業廃棄物収集運搬業許認可 |
| 2009年10月 | 食品循環資源再生利用事業登録許認可 |
| 2011年7月 | 三重県版環境マネジメントシステム（M－M E S）取得 |
| 2011年7月 | 大台町 J－V E R 制度活用による事業者大台町クレジット購入契約締結 |
| 2013年6月 | 使用済自動車取引業者登録 |
| 2014年2月 | 三重県産業廃棄物収集運搬業優良認定取得
三重県特別管理産業廃棄物収集運搬業優良認定取得
三重県産業廃棄物処分業優良認定取得 |
| 2018年7月 | 三重県産業廃棄物処分業追加(廃蛍光灯ランプに限る) |
| 2020年2月 | 発酵処理廃止
食品循環資源再生利用事業登録許認可 登録返納 |
- (7) 事業の規模 : 売上高 758,823千円(2024年1月末日決算)
従業員数 45名（パート等5名含む）
本社・事務所 敷地面積 4,706.91㎡ 延床面積 369.25㎡
中間処理施設 敷地面積 31,392.8㎡ 延床面積 1419.56㎡
積替え保管 面積 1,814 ㎡ 保管上限 341.1㎡

(8) 許認可一覧と処理能力

1) 産業廃棄物収集運搬業 許可番号と品目

2024.8.1現在

収集運搬業				産業廃棄物																
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	燃え が ら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 ブラ	紙 屑	木 屑	織 維 屑	残 渣	動 植 物 性	ゴム 屑	金 属 屑	ガラ ス 屑 等	鋳 さい	ガレ キ 類	及 び ト 類 ダ ス ン
		有効期限																		
三重県	第02414020434号	2017年10月11日 2024年9月20日	有	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
愛知県	第02300020434号	2024年7月8日 2029年7月7日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
岐阜県	第2100020434号	2021月8月4日 2026年7月22日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
奈良県	第02900020434号	2023年5月14日 2028年5月13日	無		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●			●
滋賀県	第02501020434号	2024年7月2日 2029年7月1日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●

収集運搬業				特別管理産業廃棄物			
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	引 火 性 廃 油	廃 感 染 物 性	廃 酸	廃 ア ル カ リ
		有効期限					
三重県	第02454020434号	2021年6月4日 2028年5月25日	無	●	●	●	●
愛知県	第02350020434号	2024年7月8日 2029年7月7日	無	●		●	●
岐阜県	第2150020434号	2021月8月4日 2026年7月22日	無	●	●	●	●
滋賀県	第02551020434号	2024年7月2日 2029年7月1日	無	●		●	●

2) 産業廃棄物処分業 許可番号と品目

処分業【中間処理】				産業廃棄物																
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	燃えが ら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 ブラ	紙 屑	木 屑	織 維 屑	残 渣	動植物性	ゴム屑	金属屑	ガラス屑等	鋳さい	ガレキ類	及びトビダ ス
		有効期限																		
三重県	第2424020434号	2018年7月3日 2024年8月24日							●	●	●	●				●	●		●	

3) 処理能力【中間処理】

加熱固化	廃プラスチック類(発泡スチロールに限る、石綿含有産業廃棄物を除く、 水銀使用製品産業廃棄物を除く)	0.4 t/日 (8h)
破 碎 (A)	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) 木くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く) 金属くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.4 t/日 (8h) 4.4 t/日 (8h) 4.9 t/日 (8h)
破 碎 (B)	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) 紙くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く) 木くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.64 t/日 (8h) 3.12 t/日 (8h) 4.72 t/日 (8h)
破 碎 (C) (廃蛍光灯)	廃プラスチック類 (廃蛍光灯に限る、石綿含有産業廃棄物を除く) ガラスくず (廃蛍光灯に限る、石綿含有産業廃棄物を除く) 金属くず (廃蛍光灯に限る) ※上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む	0.168 t/日 (8h) 0.48 t/日 (8h) 1.68 t/日 (8h)
圧 縮	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) 金属くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	2.8 t/日 (8h) 5.6 t/日 (8h)
選 別	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く)	132 m³/日 (8h)

他6種類

(9) 取扱い産業廃棄物（事業規模）

1) 収集運搬実績（産業廃棄物）と運搬車両（施設）の種類・台数

・収集運搬量実績

収集運搬実績	単位	2021年	2022年	2023
産業廃棄物収集運搬量	t	11,965	11,706	9,914
特別管理廃棄物収集運搬量	t	0	0	0

※特別管理産業廃棄物の許可はありますが、実績はありませんでした。

・運搬車両の種類と台数

車種	登録番号	最大積載量	車種	登録番号	最大積載量
清掃車	三重800す0044	2930kg	バン	三重100そ2596	2350kg
塵芥車	三重800す9832	1500kg	コンテナ車	三重400ぬ3007	3000kg
キャブオーバー	三重100せ8122	3300kg	塵芥車	三重400せ4036	2200kg
バン	三重100せ8922	2900kg	塵芥車	三重800は2458	3750kg
塵芥車	三重800せ2047	2200kg	コンテナ車	三重100は7881	7900kg
塵芥車	三重800せ2151	2450kg	コンテナ車	三重100は7965	4950kg
コンテナ車	三重100せ9682	3200kg	塵芥車	三重800せ4824	2150kg
コンテナ車	三重100は6855	6900kg	塵芥車	三重800せ4695	2150kg
塵芥車	三重800は2191	3900kg	コンテナ車	三重130さ293	10080kg
塵芥車	三重800せ3027	2200kg	塵芥車	三重800せ5212	2150kg
バン	三重100そ1191	2000kg	塵芥車	三重800は2547	4000kg
バン	三重100ろ74	13600kg	塵芥車	三重800は2587	4000kg
塵芥車	三重800は2318	3700kg	コンテナ車	三重400ぬ892	3000kg
バン	三重100そ1632	2000kg	コンテナ車	三重400ぬ1468	3000kg
コンテナ車	三重100は4485	7900kg	バン	三重100そ4783	1850kg
塵芥車	三重800せ5874	2150kg			

・中間処理実績

処理実績	単位	2021年度	2022年度	2023年度
破碎	t	3,009	3,109	1,963
加熱固化	t	60	100	48
選別	t	3,387	2,969	2,741
圧縮	t	42	104	39
合 計	t	6,498	6,282	4,791

・積替え保管施設場所 種類・保管条件

積替え保管場所

場所 : 三重県津市一志町其倉字岩ヶ谷170番1

面積 : 1,814 m²

種類 : 廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物を含む)、金属くず、
ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む)
(上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む)
紙くず、木くず、繊維くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)

保管上限 : 341.1 m³

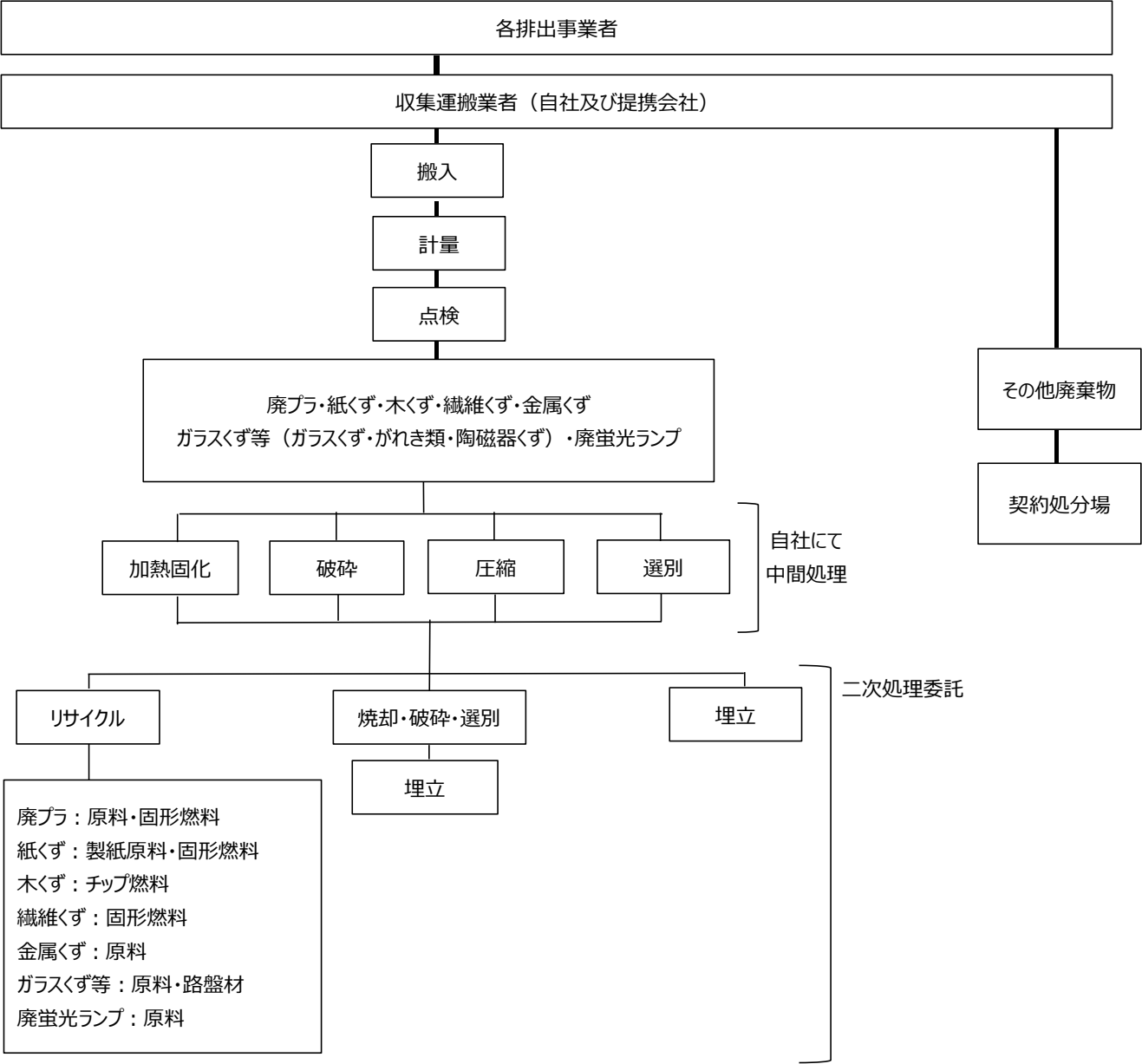
・処理施設

中間 処 理 施 設	加熱固化施設	ハイムター R E - E X 501	廃プラ (発泡スチロールに限る)	
	破碎 (A) 施設	一軸破碎機 U S 75	廃プラ	木くず 金属くず
	破碎 (B) 施設	破碎機 B R 2001	廃プラ	木くず 紙くず
	破碎 (C) 施設	CFR型廃蛍光灯クラッシャー	廃プラ	金属くず ガラスくず等
	圧縮施設	カンプレッサー	廃プラ	金属くず
	選別施設	磁選機・コンベアー	廃プラ・紙くず・木くず・金属くず・ガラスくず・ 繊維くず・がれき類 以上7種類	
重機	後方超小旋回ショベル SK55SR-6E		—	西日本コベルコ建機(株)
	後方超小旋回ショベル SH125		—	住友建機(株)
フォークリフト	トヨタエンジンフォークリフト 50-8FD25		最大荷重 2,500kg	トヨタL&F中部 (株)
	トヨタエンジンフォークリフト 02-8FD30①		最大荷重 3,000kg	
	トヨタエンジンフォークリフト 02-8FD30②		最大荷重 3,000kg	
	トヨタエンジンフォークリフト 02-8FD30③		最大荷重 3,000kg	

・処理能力

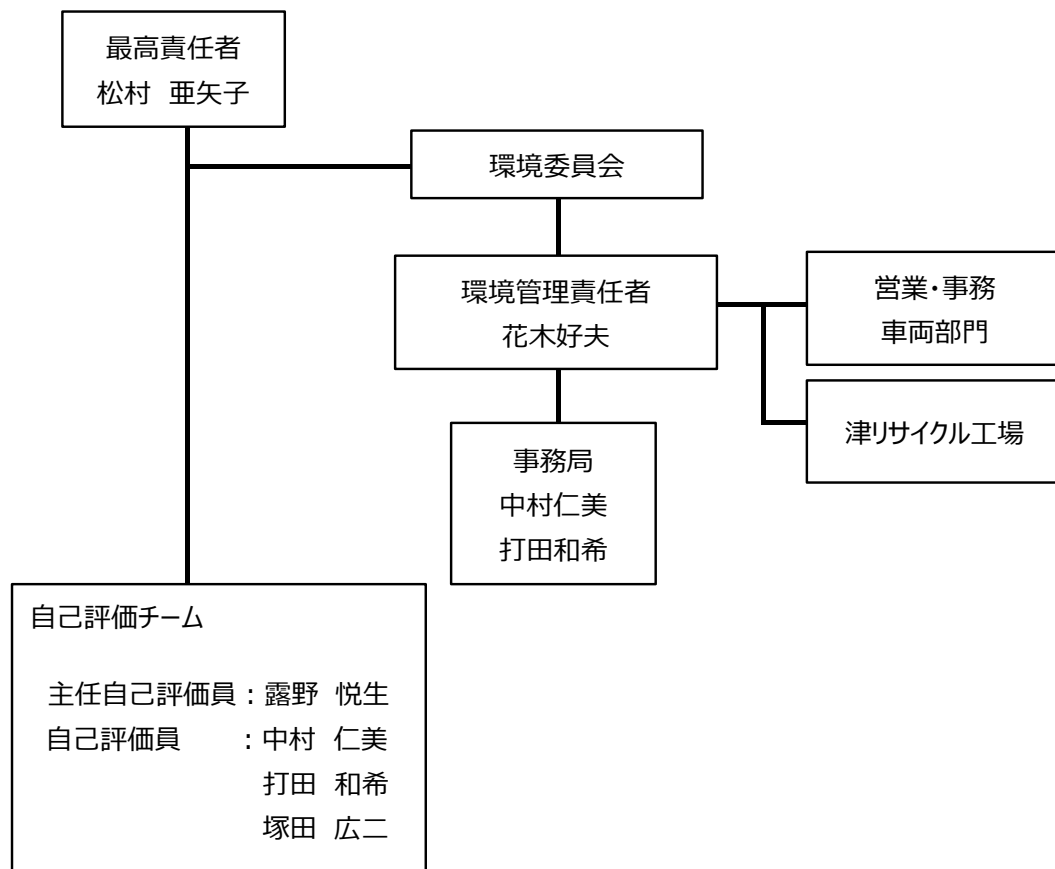
中間 処 理 施 設	加熱固化施設	廃プラ (発泡スチロールに限る)	0.4 t / 日(8 h)
	破碎 (A) 施設	廃プラ	4.4 t / 日(8 h)
		木くず	4.4 t / 日(8 h)
		金属くず	4.9 t / 日(8 h)
	破碎 (B) 施設	廃プラ	4.64 t / 日(8 h)
		紙くず	3.12 t / 日(8 h)
		木くず	4.72 t / 日(8 h)
	破碎 (C) 施設 (廃蛍光灯)	廃プラスチック類 (廃蛍光灯に限る)	0.168 t / 日(8 h)
		ガラスくず (廃蛍光灯に限る)	0.48 t / 日(8 h)
		金属くず (廃蛍光灯に限る)	1.68 t / 日(8 h)
	圧縮施設	廃プラ	2.8 / 日(8 h)
		金属くず	5.6 t / 日(8 h)
	選別施設	—	132m ³ /日(8 h)

処理工程図【参考】



(10) 廃棄物の処理料金
運搬距離・廃棄物内容・回収形態等により、都度見積りをおこなう。

(11) 環境活動の取組体制



環境管理責任者：花木 好夫

担当者連絡先：中村 仁美 本社 TEL：0598-56-6153 FAX:0598-56-4889

打田 和希 津リサイクル工場 TEL：059-254-6655 FAX：059-259-2228

2. 登録対象

(1) 登録内容

M-EMS 登録証

登録日：2011年 7月 1日 (S2)

登録期限：2025年 6月30日

登録番号：M-EMS2W-0006 KES2W-5-0006

(2) 登録範囲

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業及び、産業廃棄物処分業（中間処理）に係わる全ての事業活動

(3) エコアクション 2 1 相互認証登録範囲

産業廃棄物の収集運搬業及び、産業廃棄物処分業（中間処理）に係わる全ての事業活動

(4) 対象事業所

本社・事務所 三重県松阪市五主町 1 3 1 3 番地

中間処理施設 三重県津市其倉 1 7 0 - 1 番地（津リサイクル工場）
（積替え保管場所含む）

3. 環境宣言

環 境 宣 言

基本理念

株式会社 司は、「可能な限り資源を循環させ、環境と共に生きる道を見出すこと」を使命と考え、人類共通の最重要課題の一つである地球環境の保全を推進し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方 針

株式会社 司は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業及び産業廃棄物処分量の全ての活動、製品及びサービスに係わる環境負荷の低減及び環境保護をするために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連法令、その他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響の内、以下の5項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 本社・工場周辺の清掃と社会貢献の推進(地域の行事参加協賛等)
 - (2) 電力使用量の削減
 - (3) リサイクル率の向上
 - (4) 環境意識の向上のための環境教育の推進
 - (5) 軽油使用量の削減(収集運搬車両対象)
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動及び環境保護を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県および松阪市・津市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメントを推進します。

制定日 2011年2月1日

改定日 2022年4月1日

株式会社 司

代表取締役松村亜矢

4. 環境改善目標

・環境負荷の実績及び3年間の中期環境改善目標
(基準年度: 2021年度)

No	環境改善目標	(基準年度)	単位		2022年度	2023年度	2024年度
	(中長期)	2021年度実績					
1	事務所・工場周辺及び使用施設の清掃(偶数月・2拠点)12回 工場全体清掃2回 地域行事参加及び協賛等の実施年間3回	清掃 12回 全体清掃 2回 行事参加・協賛 5回	回/年	目標	清掃14回 行事参加/協賛3回	清掃14回 行事参加/協賛3回	清掃14回 行事参加/協賛3回
				実績	清掃14回 行事参加/協賛4回	清掃14回 行事参加/協賛9回	
2	電力使用量の削減 本社電力・工場高圧電力 基準年度比1%削減	144,049kWh	kWh (kg-CO ₂ /年)	目標	基準年度比±0% 144,049 (54594.5)	基準年度比±0% 144,049 (54594.5)	基準年度比1%減 142,608 (54048.4)
				実績	133,895 (50746.2)	138,150 (52358.8)	
3	リサイクル率の維持 基準年度維持 ※1・4	79.6%	%	目標	基準年度比±0% 79.6%	基準年度比±0% 79.6%	基準年度比±0% 79.6%
				実績	81.8%	79.7%	
4	環境教育の推進 ①環境講習会の実施 年4回 ②緊急連絡訓練及び防災訓練 各年1回	講習会(7回) 訓練(2回)	回	目標	6回/年	6回/年	6回/年
				実績	9回	8回	
5	軽油使用量の削減 (収集運搬車両対象) 基準年度比1%削減 ※4	257.1ℓ/M¥ (売上高)	ℓ/M¥ (売上高)	目標	基準年度比±0% 257.1	基準年度比1%減 254.5	基準年度比1%減 254.5
				実績	252.7	247.7	

※1 自社策定リサイクル率 = (①リサイクル処理量 ÷ ②廃棄物処理量) × 100

①リサイクル処理量 = 自社リサイクル資源化量(プラスチック原料+金属原料+紙原料+ガラス原料)+
二次処理先リサイクル処分量(RDF(プラスチック+紙くず+繊維くず)+燃料チップ(木くず)
+路盤材(ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず))

②廃棄物処理量 = 自社処分量(中間処理)

※2 2024年度 3.循環型社会貢献(リサイクル率向上)の目標値を1%向上→±0%に変更(搬入物内のリサイクル品目が大幅に減少したため)

5.省エネルギー(軽油使用量の削減)の目標値を2%削減→1%削減に変更(経費削減のため外注運搬を自社運搬に切り替えたことで運搬量が増えたため)

・管理項目での実績

No	管理項目	具体的施策	項目 単位	2022年度		2023年度		2024年度	
				実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量
1	グリーン購入	毎月事務用品購入時の エコ商品購入実績の把握	品	22品	—	16品	—	—	—
2	ガソリン・軽油(燃料) 合計使用量の把握 (収集運搬車両の軽油を除く)	・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の励行	使用量 ℓ (ガソリン/ 軽油)	3,387	7,857.8	3,337	7,741.8		
				28,389	73,243.6	23,003	59,347.7		
3	水道使用量の把握	・洗車時の節水励行 (水の出っぱなしの排除)	使用量 m ³	572.0	—	520.5	—		—

排出係数: 電力0.379kg-CO₂/kWh、ガソリン2.32 kg-CO₂/L、軽油2.58 kg-CO₂/L

出典: 2021年(令和3年)環境省より

水の使用量は、生活排水のみのため、改善目標から除外し、維持管理項目とする。

化学物質においては、その使用実績がありません。

5.環境改善目標と実績

2023年度環境活動実績

No	環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
1	事務所・工場周辺及び使用施設の 清掃（偶数月・2拠点）12回 工場全体清掃2回 地域行事参加及び協賛等の実施 年間3回	・清掃 12回 ・全体清掃 2回 ・行事参加・協賛 3回	清掃14回 協賛他3回 計17回	清掃14回 協賛他9回 計23回	A（135%）
2	電力使用量の削減 本社電力・工場高压電力 基準年度実績維持	・休憩時間の消灯 ・不必要な電灯・換気扇の消灯 ・エアコン設定温度 夏季：28℃ 冬季：20℃ ・工場設備の計画的な稼働 ・設備電源の空転時の休止 ・外出時・帰社時のPCの電源を切る	144,049kWh/年 54,594.5kg-CO ₂ /年	138,150kWh/年 52,358.8kg-CO ₂ /年	A（104%）
3	リサイクル率の向上 基準年度実績維持	・廃棄物の効率的な分別 ・排出事業者へ廃棄物の分離・分別方法 を指導 ・分別後の資源化を推進 （再資源受入先を増やす）	79.6%	79.7%	A（100%）
4	環境教育の推進 ①環境講習会の実施 年4回 ②緊急連絡訓練及び防災訓練 各年1回	・本社津R工場での環境講習会開催 ・緊急事態想定訓練実施 ・防災訓練実施	6回	8回	A（133%）
5	軽油使用量の削減 （収集運搬車両対象） 基準年度実績維持	・エコドライブの推進 ・タイヤ空気圧チェック ・アイドリングストップ ・仕物の計画的な稼働	257.1ℓ/M¥ 195,696.L 504,895.6kg-CO ₂ /L	247.7ℓ/M¥ 184,514.L 476,046.1kg-CO ₂ /L	A（103%）

評価記号 A：良好(100%以上) B：やや不足(90～100%未満) C：不適合(90%未満)

管理項目及び二酸化炭素排出量の実績

No	管理項目	具体的施策	項目 単位	2022年度		2023年度		2024年度	
				実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量
1	ガソリン・軽油（燃料） 合計使用量の把握 （収集運搬車両の軽油を除く）	・アイドリングストップの推進 ・エコ運転の励行	使用量 ℓ （ガソリン/ 軽油）	3,387	7,857.8	3,337	7,741.8		
				28,389	73,243.6	23,003	59,347.7		
2	電力使用量の把握	・設備の休止時電源オフ推進 ・未使用時・休憩時の消灯推進 ・工場設備の計画的な稼働	使用量 kWh	133,895	50,746.2	138150	52358.8		
3	軽油使用量の把握 （収集運搬車両対象）	・エコドライブの推進 ・タイヤ空気圧チェック ・アイドリングストップ	使用量 ℓ	188,812	487,134.9	184,514	476,046.1		
	二酸化炭素排出量（合計）		kg-CO ₂ / 年	－	618,982.5	－	543,135.6	－	

排出係数：電力0.379kg-CO₂/kWh、ガソリン2.32 kg-CO₂/L、軽油2.58 kg-CO₂/L

出典：2021年（令和3年）環境省より

5. 1 具体的環境活動の評価

今年度も前年同様、目標値を確認しながら社員一同活動に取り組んだ。

社会貢献活動においては、行事の開催も多かったことから、協賛にとどまらず、参加を通して地域の方々とコミュニケーションをとる機会が増え、目標達成にも結び付けることができた。

循環型社会貢献（リサイクル率向上）については1年を通して目標達成に苦労した。

顧客のリサイクル意識が年々向上し、リサイクル品目が減る中、細かな選別や増員など工夫を重ねたが、なかなか改善せずぎりぎり目標達成となった。

ただし環境を守るという観点においては、排出事業者が進んでリサイクルに取り組むことは喜ばしいことであり、根気よく情報提供を続けたことが意識向上に役立っていると実感した。

来年度も目標達成に向けて活動に取り組むとともに、環境改善に役立つ行動を意識していきたい。

5. 2 次年度の活動について及び今後の課題

次年度の活動については、引き続き中長期目標（2022-2024）を掲げ、達成を目指していく。

①社会貢献活動については、積極的に情報収集し様々な行事に参加・協賛していく。

②電気使用量削減については、引き続き具体的施策を徹底する。

③リサイクル率削減については、目標値を基準年度実績維持に変更し、新たな施策を検討して進めていく。

④環境教育推進については、教育項目を新たに検討して確実に実施していく。

⑤軽油使用量削減については、目標値を基準年度比1%減に変更し、アイドリングストップの徹底、運搬コース効率化を目指す。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、適用される環境関連法と、その要求事項の概要を別表1に示す。適用される主な環境関連法の順守状況を定期的に確認評価の結果、違反はなかった。

また、関連機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

7. 代表者による全体の評価見直し結果

7. 1 全体評価

今回の環境活動目標について社員一丸となってなんとか目標達成を成し遂げることができた。

循環型社会貢献（リサイクル率向上）、省エネルギー（軽油使用量削減）に関して目標達成が厳しい状況が続いたが、そのためにできないか社員一人一人が考え、皆で試しながら乗り越える姿が見れた。

7. 2 見直し評価

環境宣言の変更の必要性：なし

環境改善活動及び環境経営システム等の変更の必要性：リサイクル率と軽油使用量の目標について見直しの必要性があると判断し、目標値の変更を実施した。

実施体制の見直し・変更の必要性：なし

8. コミュニケーション

今年度は祭りなどの行事も開催され、出店の手伝いなど積極的に参加することができた。

参加行事：5回 町内会清掃/七夕まつり/おおきんまつり/ハロウィンまつり/松阪マラソン大会

別表ー1 適用される環境関連法とその要求事項

区分	名称		要求事項	環境影響項目	管理部門
大気	オフロード法		適合証明・重機の使用、特殊自動車の排ガス規制	本社：リフト1基 津R:リフト3基・重機2基	本社・津リサイクル工場
	気候変動適応法		ハザードマップの作成	環境全般	本社・津リサイクル工場
			熱中症対策		
			国県市の施策に協力		
水質	浄化槽法		設置の届出:申請日確認	浄化槽：東洋アールTPC-5	津リサイクル工場 委託業者：東海管理サービス 委託業者：マルキン清掃 委託業者：三重県水質保全協会
			保守点検：4ヵ月1回		
			清掃：年1回		
			法定検査（水質）：年1回		
廃棄物	産業廃棄物排出事業者		委託契約の締結（契約書5年間保管）	産業廃棄物 水銀使用製品産業廃棄物	本社・津リサイクル工場
			保管基準の順守		
			マニフェストの交付・回収・照合・保管（5年）		
			収集運搬処分状況報告書（実績報告）		
			交付状況報告（知事）毎年6月末日迄		
	廃棄物処理法（一般・産業） 収集運搬業		収集運搬業許可証の有効期限（更新）表示	収集運搬車両全般	本社・津リサイクル工場
			収集運搬業許可基準の順守	一般廃棄物	
			委託契約の締結（契約書5年間保管）	産業廃棄物・特別管理廃棄物	
	廃棄物処理法（一般・産業） 中間処理業		処分業許可証の有効期限（更新）表示	一般廃棄物・産業廃棄物 破碎施設 加熱固化施設・選別施設 破碎施設（水銀使用製品）	本社・津リサイクル工場
			処分業許可基準の順守		
			委託契約の締結（契約書5年間保管）		
			再生施設 認定		
	廃棄物処理法（一般）		分別処理：事業系一般廃棄物の分別、減量化 3Rの努力	事務所給湯室・休憩室	本社・津リサイクル工場
温暖化防止 廃棄物	フロン排出抑制法		回収運搬破壊の経費支払と委託確認書の保存	業務用エアコン エアコン搭載重機	本社・津リサイクル工場
			フロン類の漏えい点検（四半期に1回の簡易点検）		
			機器廃棄後3年間保存（引取証明書、定期点検記録、解体工事の場合、元請業者の事前説明書）		
			廃棄物・リサイクル業者に廃棄機器引渡時、引取証明書の写しを渡す		
リサイクル	資源有効利用促進法		長期使用、再生資源の努力義務	本社：PC13台・複写機1台 津R：PC4台・複写機1台	本社・津リサイクル工場
	家電リサイクル法		買換時リサイクル料負担	本社：テレビ2台・エアコン2台 冷蔵庫4台・洗濯機2台 津R：テレビ2台・エアコン2台 冷蔵庫1台・洗濯機1台	本社・津リサイクル工場
	建設リサイクル法		建築物の分別解体／分別、発注者への報告	コンクリート、木材	本社・津リサイクル工場
			建築廃材等の再資源化	コンクリート、木材	津リサイクル工場
	自動車リサイクル法		自動車引取業者登録・登録基準の順守 車検又は買換時リサイクル料負担	本社：社用車1台・営業車3台 軽四1台・収運車両19台	本社・津リサイクル工場
	小型家電リサイクル法		長期使用、再生資源の努力義務	本社：プリンター1台・電話機13台 津R：プリンター1台・電話機3台	本社・津リサイクル工場
	プラスチック資源循環法		プラスチック産業廃棄物の排出抑制、 再資源化	プラスチック産業廃棄物	本社・津リサイクル工場
交通	道路交通法		酒気帯びの有無（アルコールチェック）の目視での確認・アルコール検知器による確認	アルコール検知器	本社・津リサイクル工場
化学物質	消防法		指定可燃物の貯蔵の基準 少量危険物の貯蔵の基準	木屑・ダンボール 軽油貯蔵（施設燃料タンク）	津リサイクル工場
	高圧ガス保安法 （一般高圧ガス保安規則）		消費に関する技術上の順守（一般高圧ガス保安規則第60条）（容器の転倒防止、バルブ開閉表示等）	溶接用アセチレンガス、 酸素ボンベ	本社
地方条例	三重県生活環境の保全に関する条例		自動車対策（アイドリングストップなど）	自動車 駐車場	本社・津リサイクル工場 本社・津リサイクル工場
			騒音発生指定施設の届出	破碎施設	津リサイクル工場
	三重県産業廃棄物の適正処理の推進に関する条例		委託先の許可期限確認・処分場現地確認 処理実績報告（知事）毎年6月末日迄	産業廃棄物：収集運搬・処分	本社・津リサイクル工場
	三重県地球温暖化対策推進条例		温室効果ガスの発生抑制	自動車、他	本社・津リサイクル工場
	三重県環境基本条例		公害防止・環境保全・環境負荷低減・市町村への協力	自動車、他	本社・津リサイクル工場
	松阪市環境基本条例		分別処理・3Rの努力	事務所給湯室・休憩室	本社・津リサイクル工場
	津市環境基本条例		分別処理・3Rの努力	事務所給湯室・休憩室	本社・津リサイクル工場
	津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		指定区域での収集運搬業を行う事業者の許可申請【2年毎更新】	収集運搬車両全般	本社・津リサイクル工場
	伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		指定区域での収集運搬業を行う事業者の許可申請【2年毎更新】・月次処理実績報告	収集運搬車両全般	本社・津リサイクル工場
その他の要求事項	協定 覚書	津市環境協定	臭気・騒音測定：年1回 記録・保存	加熱固化施設 （送風機・発泡溶融機）	津リサイクル工場
			騒音敷地境界線上基準の順守：年1回測定65dB以下		
			悪臭排出基準の順守：年1回測定津市一志町臭気指数15以下		

産業廃棄物 処理実績表 （2023年度）

収集運搬量/持込量	
種 類	収集運搬量（t）
廃プラスチック	3521
金属くず	938
紙くず	35
木くず	1003
繊維くず	0
ガラスくず等	201
がれき類	257
蛍光ランプ	5
汚泥	1723
動植物性残渣	1944
廃酸	218
廃アルカリ	4
廃油	39
電池	7
バッテリー	0
燃え殻	0
混合廃棄物	19
合計	9914

持込量	179
-----	-----

総合計取扱量	10093
--------	-------

処分量	
種 類	自社処分量（t）
廃プラスチック	2553
金属	938
紙くず	35
木くず	1000
繊維くず	0
ガラスくず等	198
がれき類	64
蛍光ランプ	3
合計	4791
直接契約処分場搬入	5302

自社処分量 （中間処理）	
処分方法 種類	処分量（t）
破 砕 廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず・蛍光ランプ	1963
加熱固化 廃プラスチック（発泡に限る）	48
選 別 廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず 繊維くず・ガラスくず等・がれき類	2741
圧 縮 廃プラスチック・金属くず	39
合計	4791

【内訳（t）】

リサイクル（再資源化）	
プラスチック・紙原材料他	53
金属原料	1,219
ガラス原料	71
合計	1,343

司排出二次処理（二次マニフェスト）	
リサイクル （RPF、燃料チップ他）	2,469
その他二次処理 （破碎、選別、焼却等）	12
最終処分場（埋立）	967
合計	3,448

総合計処分量	4,791
--------	-------

2023年度リサイクル率	79.5%
--------------	-------

※算出方法：

{リサイクル（再資源化）+司排出リサイクル処分量}

総合計処分量

1343+2469

=

4791